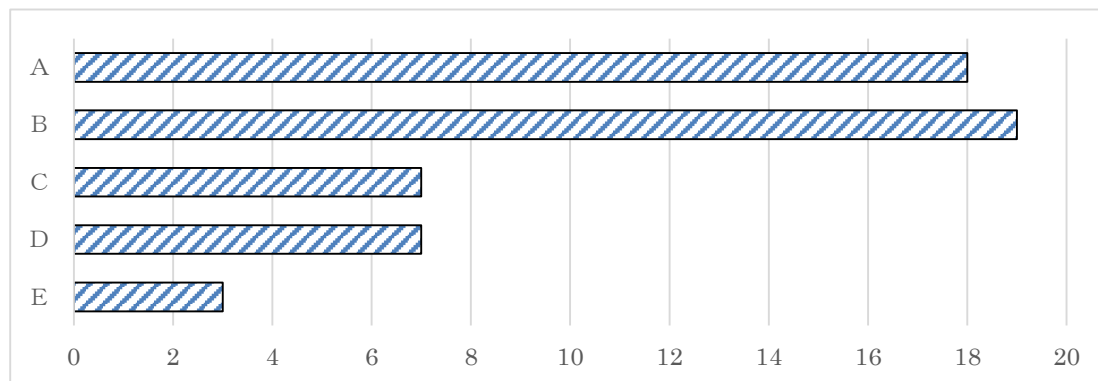


(3) 指導観

指導を進める上で、前述のレディネス調査において、以下の調査についても行った。

Q 2 次の中から、やってみたい（好きな）学習形態に○を付けてください。（複数回答可）

- A グループで話し合う授業
- B テーマを設定し、資料やインターネットなどを使って調べ学習をする授業
- C 地図を読み取ったり活用したりする授業
- D 先生の説明をじっくり聞く授業
- E 資料から分かることなどを自分の言葉でまとめる授業



Q 3 「経済」と聞いてイメージする言葉は何ですか？

お金、株、景気、高度経済成長、円高、TPP、アベノミクス 等

Q 2の結果からは、調べ学習やグループ学習のような生徒が主体的になる学習を期待していることが多いことを確認できた。一方で、資料から自分でまとめる授業を望んでいない生徒もいる。生徒が学ぶことに楽しさを感じる指導計画を立てていくことが課題であると感じた。

Q 3の結果からは、「経済」という言葉から「お金」をイメージする生徒が多く、その知識は断片的であることが確認できた。一方、関心をもって細かい内容まで理解できている生徒も少なからず見受けられた。

そのため、第一に具体的で分かりやすい資料を準備した上で、グループで意見を出し合うことによって多面的・多角的に資料を読み取り、考察する時間をしっかりと設けることを配慮し、時間配分を工夫していく。

第二に、身近な事例に基づく学習活動やシミュレーションなどの様々な学習活動を通して、経済に対する関心を高めさせ、暮らしと経済の関係に気付かせるようにする。そして、経済に関する統計資料をはじめとした資料の収集・選択、読み取り等を通じて、主体的に課題を解決していこうとする能力や態度を養わせる。

また、課題解決的な学習を充実させるために、ワークシートを用いながら課題に対する予想・仮説を立てさせるとともに、各指導過程において目的に応じた発問を工夫することによって言語活動を充実させ、生徒の思考力・判断力・表現力を高める学習指導を行っていきたい。

3 単元の目標

- (1) 学習活動を展開する中で、経済活動に関する諸課題について関心を高め、自ら考えようとする態度を育てる。【社会的事象への関心・意欲・態度】
- (2) 消費生活や流通に関する様々な事例を基に、経済活動における選択や、消費者の権利と自立、流通の役割について多面的・多角的に考え、その過程や結果を適切に表現している。【社会的

な思考・判断・表現】

- (3) 身近で具体的な事例を通して、現実の経済に対する関心をもたせ、さらに個人と社会とのかかわりを客観的にとらえ直し、その意味についての理解を深めさせ、経済についての見方や考え方の基礎を育てる。【資料活用の技能】
- (4) 消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、市場経済の基本的な考え方や現代の生産の仕組みのあらましについて理解させる。【社会的事象についての知識・理解】

4 研究課題との関わり【「確かな学力を身に付けさせるための授業改善の研究～五感に訴えるICTの効果的な活用～」との関連】

教科指導におけるICTの活用とは、学習課題の達成のために生徒の興味、関心をひきつけたり、学習内容を分かりやすく説明したりするための手段である。本校は、デジタル教材、プロジェクター、実物投影機などのICT利用環境が整っており、社会科部会でも常にそれらを活用して授業実践に取り組んでいる。今回の取組では、大型プロジェクター画面が設置されたマルチメディア研修室を利用した授業実践を提案したい。

特に本単元では、導入部分で身近な地域を大型スクリーンに映し出すことによって経済活動について関心を高めさせたい。また、共通の資料を常時提示することによって、話し合い活動を活性化させることもねらいの一つである。さらに、班で考え議論したものを発表する際に、地図を提示しながら分かりやすく表現するという力も身に付けさせたい。

5 単元の単元指導計画と評価計画

- (1) コンビニエンスストアの経営者になってみよう（1時間）・・・本時
- (2) 私たちの消費生活（1時間）
- (3) 契約と消費生活（1時間）
- (4) 消費者の権利を守るために（1時間）
- (5) 消費生活を支える流通（1時間）

主な学習活動	主な資料	単元の評価規準
1 出店場所を選択し、出店条件を考察する。 本時	・地図	コンビニの出店場所の選択とその条件について考察し、他の意見にも耳を傾けながら思考を深め、出店地をグラフにまとめる作業を通して、経済活動への関心を高めている。 関 資
2 商品選択の必要性やよりよい消費生活を学ぶ。	・教科書P,120 資料2 ・広告	具体的な場面でどのように選択しているかシミュレーションすることで、経済活動の中での様々な条件における的確な選択を行う。 思
3 消費者主権や消費者問題について、理解する。	・教科書P,125 資料5	消費生活が契約によって成り立っていることを、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 思
4 消費者の権利とその保護について、具体的な被害例や対応策などを通して考え、考えたことを表現する。	・環境ラベル	消費者の権利や消費者行政の役割について理解し、その知識を身につけている。 知

5	流通の仕組みや役割、流通の合理化の取り組みについて調べ、理解する。	・教科書P,126 資料4	流通の役割や流通の合理化の取り組みについて、生産者と消費者の立場から多面的・多角的に考察している。 思
---	-----------------------------------	------------------	---

6 本時の目標

経営者の視点から消費者の消費行動について考えることで、生活と経済との関係性に気付き、それぞれの立場から多面的・多角的に考察する力を深める。

7 教材

- ・「新しい社会 公民」（東京書籍）
- ・「ビジュアル公民 2016」（とうほう）

8 本時の展開

段階	時間	学習活動・学習内容	・指導上の留意点、主な評価規準 ◎ICTの特徴と期待する効果	資料等
導入	5分	○学区内の地図から、本時の学習課題を確認する。 ・コンビニの数・場所 ・コンビニの種類	・各店の位置と種類を提示し、身近な生活から本時の学習に関心をもたせる。 ◎大型プロジェクター画面を活用することにより、生徒の関心、意欲を高めさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">どこにどの店があるか、積極的に把握しようとしている。【社会的事象への関心・意欲・態度】</div>	・学区内の地図（パワーポイント） ・各店（外観）の写真（パワーポイント）
		【学習課題】 コンビニエンスストアをどこに、オープンすればよいだろう？		
展開	40分	○意図的に5つに絞られた立地条件を確認する。 A ⊕駅前 ⊖駐車場 B ⊕住宅地 ⊖新規客 C ⊕学校 ⊖休日 D ⊕交通量 ⊖競合 E ⊕行楽地 ⊖平日	・それぞれのコンビニの特徴、立地条件等を長所・短所を中心に整理し、要点を捉えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">地図や表から、正確に情報を読み取っている。【資料活用の技能】</div>	・各土地の条件を整理した表（実物投影機）
		○地図中の候補地から出店場所を選択し、理由を書く。	・まず、個人で様々な条件を考えさせながら、自分の考えをまとめさせる。	
どこの土地を選んで出店するか？（4人班）				
		○立地条件の長所・短所を考慮し、出店地	・4人班になり、立地条件の長所・短	

		を決定する。	所を議論させ、チャートの項目を整理させる。 ・対立と合意、効率と公正の見方や考え方を生かして決定できるように指導する。	
展開	40分	○班ごとに、出店地・出店理由等を発表する。	・結論に至った理由を、説明できるように、分かり易くまとめさせる。 ◎地図とチャートグラフを用いた各班の発表を聞くことを通じ、経済活動への思考力を高めるとともに、経済と生活が密接につながることを理解させる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;">どのような立地条件で検討すべきか考え、地図を利用して適切に表現している。【社会的な思考・判断・表現】</div>	・チャートグラフ（実物投影機） ・学区内の地図（パワーポイント）
まとめ	5分	○各班の意見の発表を聞き、個人でまとめる。消費者の視点が必要であることを知る。	・様々な意見をそれぞれの立場になって考えさせる。	

9 本時の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
コンビニエンスストアの立地について考えるシミュレーションを通して、経済に対する関心を高めている。	コンビニエンスストアの立地について、経営者と消費者の立場から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	消費生活に関する事例や統計資料を収集・選択し、読み取るとともに、その解決策について自分の考えをまとめている。	身近な消費生活を基に、自分の日常生活と経済との関係に気付くとともに、経済活動の意義について理解している。